

評価結果報告書

地域密着型サービスの外部評価項目構成

	項目数
I. 理念に基づく運営	11
1. 理念の共有	2
2. 地域との支えあい	1
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	3
4. 理念を実践するための体制	3
5. 人材の育成と支援	2
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	2
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	1
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	1
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	6
1. 一人ひとりの把握	1
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	2
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	2
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	11
1. その人らしい暮らしの支援	9
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	2
合計	30

事業所番号	3171400447
法人名	医療法人 至誠会
事業所名	グループホーム ひまわり関金
訪問調査日	平成19年 8月28日
評価確定日	平成19年 9月28日
評価機関名	特定非営利活動法人 鳥取社会福祉評価機構

○項目番号について
 外部評価は30項目です。
 「外部」の列にある項目番号は、外部評価の通し番号です。
 「自己」の列にある項目番号は、自己評価に該当する番号です。参考にしてください。
 番号に網掛けのある項目は、地域密着型サービスを実施する上で重要と思われる重点項目です。この項目は、概要表の「重点項目の取り組み状況」欄に実施状況を集約して記載しています。

○記入方法
 [取り組みの事実]
 ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入しています。
 [取り組みを期待したい項目]
 確認された事実から、今後、さらに工夫や改善に向けた取り組みを期待したい項目に○をつけています。
 [取り組みを期待したい内容]
 「取り組みを期待したい項目」で○をつけた項目について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容を記入しています。

○用語の説明
 家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。
 家族 = 家族に限定しています。
 運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。
 職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。
 チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

1. 評価結果概要表

【評価実施概要】

事業所番号	3171400447		
法人名	医療法人 至誠会		
事業所名	グループホーム ひまわり関金		
所在地 (電話番号)	鳥取県倉吉市関金町関金宿1891-1 (電話)0858-45-6222		
評価機関名	特定非営利活動法人 鳥取社会福祉評価機構		
所在地	鳥取県鳥取市湖山町北2丁目116番地		
訪問調査日	平成19年 8月28日	評価確定日	平成19年 9月28日

【情報提供票より】(19年 8月16日事業所記入)

(1)組織概要

開設年月日	平成16年 2月 1日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	15 人	常勤14人, 非常勤 1 人, 常勤換算 14.0 人	

(2)建物概要

建物形態	単独	新築
建物構造	木造 造り	
	1階建ての	1階部分

(3)利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	15,000 円	その他の経費(月額)	15,000 円
敷金	有(円)	<input checked="" type="checkbox"/> 無	
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円)	有りの場合 償却の有無	有/無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり 800円		

(4)利用者の概要(8月16日現在)

利用者人数	18 名	男性 2 名	女性 16 名
要介護1	2 名	要介護2	3 名
要介護3	10 名	要介護4	1 名
要介護5	2 名	要支援2	0 名
年齢	平均 86 歳	最低 75 歳	最高 94 歳

(5)協力医療機関

協力医療機関名	野島病院 北岡病院 小川歯科
---------	----------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

関金温泉に隣接する里山の中腹に介護老人保健施設の別棟として建てられた平屋建ての開設後3年半の2ユニットのグループホームである。職員はほぼ常勤者で、具体的で分かりやすい理念を掲げて毎日唱和して理念の徹底を図っている。設立当初から地域との交流を理念に掲げて実行している。管理者の認知症介護経験は8年7ヶ月、職員は平均4年弱であり、職員は明るく「普通の暮らし」に真剣に取り組んでいる。介護度の高い利用者には個別のケアをしており、医師の往診も有り利用者やご家族の満足度はかなり高い。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	地域向けの広報誌の発行では季節ごとに写真や健康情報を記載した広報誌を発行している。経験年数に見合った研修の実施では年間の研修計画を立案して月に一回は研をしている。又センター方式の検討ではセンター方式を取り入れてケアに活かしている。
重点項目②	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	今回の自己評価は職員全員が一人ひとりずつ全項目をすべて記入し、ミーティングで員で記入した内容を持ち寄って検討し、管理者を中心にしてまとめ上げた。職員は外部評価、自己評価の意義や目的を理解し、より良いケアに結びつける努力をしている。
重点項目③	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)
	運営推進会議は定期的開催されており、参加者も利用者、ご家族、地域の代表者、行政の担当者等で構成されている。地域の代表者は1年で交代されるため、引継がばその都度お伺いして運営推進会議の意義、目的等を説明して事前に理解を深めていただくようにしている。地域の方からも多くの参考となる意見が出されており、施設側も真剣に取り組んで会議で検討した結果を、次回の会議で報告するようにしている。
重点項目④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)
	ご家族へはホームの行事の様子等を写真を多く取り入れた新聞を発行し、その中に利用者一人ひとりのご家族へのコメントを記入して日々の様子を報告し、行事等での写真も封してご家族へ安心していただけるようにしている。又家族会も年に二回開催してご家族の意見を十分に聞いてサービスの改善を図る努力をしている。
重点項目⑤	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	地元の滝川地区自治会に加入しており、地域の方に参加していただき避難訓練を行ったり、地域の方がボランティアでオカリナの演奏をしていただいたり、地域主催のイベントに参加したりしている。又施設主催の元氣まつりに地域の方が大勢参加されたりと、方向での交流をしており、地域向けの広報誌も季節ごとに発行している。

2. 評価結果(詳細)

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域との交流を設立当初から理念の中に取り入れ、グループホーム独自の理念が具体的に分かりやすい言葉で書かれており、玄関や事務所等に掲示されている。職員は毎朝理念を唱和することで深く刻み込んでおり、理念を日々の暮らしの中で実践できるようにしている。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	管理者は職員に毎朝の申し送りや昼のカンファレンスの時に理念をより具体化した行動の指示を与え、「普通の暮らし」ができるように調理の手伝い、洗濯物のしわ伸ばしやたたみ、新聞整理等の利用者それぞれの役割が果たせるように支援している。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地元の滝川地区自治会に加入しており、地域の方に参加していただき避難訓練を行ったり、地域の方がボランティアで来訪されている。地域主催の行事にも参加したり、施設主催の元気まつりに地域の方が大勢来られたりと双方向の交流を行ない、地域向け広報誌も年4回発行している。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	管理者や職員は外部評価及び自己評価の意義や目的は全員に徹底されており、今回の自己評価は全員がそれぞれ全項目を記入して、それをミーティングで検討して、管理者がまとめるという方法で行っている。前回の外部評価における要改善事項も改善計画を立案して実行し、改善している。		
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	参加者には運営推進会議の意義や目的を理解していただくように事前に説明を行っており、委員から意見が出やすいように討議方法を変更したり工夫している。又出された意見を検討し具体的な改善結果を報告しており、外部評価、自己評価結果も公表している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	倉吉市の長寿社会課担当者には利用者の入所や退所、又事故報告(病院へ行った場合のみ)を行なって担当者とのコミュニケーションを図っている。又福祉課との連携もあるが、行政とともに解決しなければいけないような問題点はない。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	行事等での利用者の写真を多く掲載した新聞を毎月発行しており、その新聞の中にそれぞれのご家族に宛てたコメントを書いて写真等を同封して送付している。事故や病院に行った場合は即時に連絡しており、来訪時には金銭出納帖を確認してもらいサインをもらっている。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族会を年二回開催しており、普段の来訪時にも管理者、職員は積極的に声かけをしており、個室へのテレビの設置や部屋の変更等の希望にも対応している。苦情受付第三者機関の明示や苦情を言っても不利にならないことの明示もある。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	法人は職員の定期的な移動はしない方針であり、グループホームの特性を踏まえた職員体制になっている。利用者へのダメージを防ぐために新入職員の場合は業務を離れ、利用者とのコミュニケーションを図る事を第一に考えた3週間位のプログラムを設定している		
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	年度当初に年間の研修計画を立案している。新人からベテランまで経験年数に応じた研修計画になっており、リーダー研修も計画されており、管理者、職員ともに積極的に研修を受講し、受講後はミーティングで報告して研修結果を全員で共有し、新人の場合はOJT教育を行なっている。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	同業者で組織する協会に加盟しており、他の法人のグループホームとの相互研修も年3回は行っており、他施設の研修者の受入れも積極的に行っている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	利用者やご家族の置かれている状況によって大きく変わるが、管理者としては申し込みがあってからは出来るだけ本人やご家族と面談し、施設の見学にも来てもらい職員とも馴染みの関係になってからの入所になるようにしている。又職員全員で話し合って納得してから入所を決定している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	利用者職員が対等な立場で普通に暮らすという理念の下に利用者を年長者として敬い、又利用者からも大変だねとかありがとうとかの言葉をかけてもらいながら利用者の嬉しさや悲しみの感情や本人の若い頃の昔話に共感し、相槌をうったりして感情を共有するケアをしている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	センター方式を取り入れてご家族に過去の生活暦等を記入していただき、若い時の写真を見て生活暦や趣味の把握に努めている。又日々のふれ合いの中での利用者のしぐさでも本人の思いを読み取ってケアにつなげている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	ご家族の来訪時や電話で意見や要望を聞くように努めており、ご家族や担当職員、医師、訪問看護師の意見等も検討して利用者が望む生活になるように介護計画を作成している。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	利用者の状態の変化をよく観察して、担当職員、医師、訪問看護師の新たな気づきやご家族の意見も踏まえて毎月モニタリングを行ない、利用者一人ひとりの現状に即した計画になるように見直している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援(事業所及び法人関連事業の多機能性の活用)					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	介護保険サービスとして医療連携体制が整い、看護師が常駐しており又自主サービスとしては理美容院や病院への送迎を行なっている。又老人保健施設から温泉を引いているので温泉を利用した足湯のサービスも行なっている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域支援との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	理事長が医師のため往診は月に一回定期的にあるが、随時の来訪も多く医療、健康面での相談助言は随時得られている。受診結果は個別の記録に記載され、ご家族への報告もなされている。ご家族が病院へ同行された場合も報告を聞いており、記録されている		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	ターミナルケアを実施しており、利用者の重度化に対応してご家族や医師とも緊密に連絡を取りながらどう支援を行なうか具体的な話し合いが行なわれており、利用者やご家族が安心して終末期を過ごしていただけるように全職員で取り組んでいる。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	ミーティングでプライバシー確保の研修を行っており、排泄では利用者のリズムを把握して本人の様子を観察して声かけをしており、職員間では利用者を小声でイニシャルで呼んでいる。PCデータの持ち出しは禁止されており、パスワードでも管理されている。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	日々の暮らしのリズムはあるが必ずしもその流れを強制せずに、利用者のその日の体調や思いに合わせて自室で食事やお茶をしていただいたり、入浴時間を早めたりして利用者一人ひとりの思いを大切に支援を行っている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	職員は利用者にとって食事が大きな楽しみの一つである事を理解しており、食事時に明日は何が食べたいと聞いて、利用者の希望に沿った献立をその場で決めており、畑で取れた自家製の野菜を多く取り入れ、彩りや盛り付けも工夫して利用者と職員が準備や片付けを一緒に行なっている。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	施設内には温泉が引き込まれており、利用者の希望に応じて朝10時から入浴できるようになっている。利用者同士と一緒に入浴されることもあり、入浴を嫌がられる利用者には職員のチームプレーでなるべく入浴が出来るように支援している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	本人やご家族から過去の生活歴や趣味を聞いて新聞たみ、洗濯物整理、食器洗い、畑仕事、ちぎり絵等それぞれの役割や趣味をしていただきながら利用者の方が居心地良く過ごせるように、又残存機能が失われないように職員が見守りながら支援している。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	買い物には交代で利用者の方が毎日出かけており、散歩も毎日取り入れている。地元の行事やあやめ池等近隣への外出は多くあり、花回廊等の遠隔地へは年間計画の家族会の中に取り入れて実施しており、絶えず心身のリフレッシュが出来るように支援している。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	職員は鍵をかけない暮らしの大切さを充分理解しており、帰宅願望のある利用者が外出された場合は職員が見落とさないように見守り、職員の連携プレーで安全面に配慮している。又地域の方にも協力をお願いして、鍵をかけない暮らしを実践している。		
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	防災マニュアルや緊急時連絡網一覧表は整備されており、防災避難計画も作成されている。消火避難訓練は年に二回地域の方々も多く参加して行なわれている。備品や非常食は隣接の老人保健施設で備蓄、管理されており、利用者の安心に繋がっている		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	利用者ごとの食事量や水分量は業務日誌に記録されており、水分量が不足する方にはゼリーや果物で補っている。医師の指示のある利用者や減塩食、糖尿病の方には個別の対応をしている。が食事のカロリー計算が献立表に記載されていない。	○	一食ごとや毎日のカロリーの把握は大切なことであり、栄養士まかせにせず職員が計算できるようにすることが必要である。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	建物には木造の特徴や良さが表れており、共用空間も広くつろげる空間になっている。空調は温度計や湿度計で職員が管理しており、風呂や洗面、トイレの換気もされている。手すりも有り、風呂マットに滑り止め等も有り安全面にも配慮されている。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室の中にはその方の過去の生活暦や趣味を伺わせる様な写真や手芸品があり、古いタンス等の家具類も持ち込まれ本人にとってなじみの居住空間になっている。ベッドも利用者の状態に合わせて変更しており、入口には手作りの表札があり使いやすい空間になっている。		